

「各教科等を合わせた指導」の特徴を知る

令和3年度（2021年度）知的障がい教育室

本道における知的障がい教育の充実を目指し、教員の指導力の向上を図るため、参考となる資料を作成しました。今号は、「各教科等を合わせた指導」の特徴や捉え方について深く理解するための内容としました。前号までと併せて、参考にしてください。



前号まではこちら

□ 「各教科等を合わせた指導」の捉え方

「各教科等を合わせた指導」の特徴

- 知的障がい者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校における指導の形態の一つ
- 児童生徒の学校での生活を基盤として、学習や生活の流れに即して学んでいく

日常生活の指導
遊びの指導
生活単元学習
作業学習

目標・内容の示し方

各教科等を合わせて指導を行う場合においても、**各教科等の目標を達成**していくことになり、育成を目指す資質・能力を明確にして指導計画を立てることが重要となる。

〔特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）〕

【各教科等を合わせた指導】は、

● **教科等の目標・内容**を指導するための指導の形態の一つ

✕ 学習指導要領には、「各教科等を合わせた指導」の**目標・内容**としては示されていない

□ 「生活単元学習」の指導に当たって

「各教科等を合わせた指導」の一つである「生活単元学習」とは

生活単元学習は、児童生徒が**生活上の目標を達成したり、課題を解決したりする**ために、**一連の活動を組織的・体系的に経験**することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を**実際的・総合的に学習**するものである。

〔特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）〕

指導内容 生活単元学習を構成する**各教科等の指導内容を踏まえる**必要がある。

評価 生活単元学習を構成する**各教科等の観点から**評価を行う。

どの教科等で「生活単元学習」を構成しているかを明確に

《ここをチェック》

「各教科等を合わせた指導」においては、実際の生活場面に即しながら、繰り返して学習する**継続的・段階的な指導**が重要です。



北海道立特別支援教育センター

〒064-0944 札幌市中央区円山西町2丁目1-1 (011)612-6211